

2019年度社会学科ビブリオバトル用の文献リスト

著者	書名	出版社・出版年
阿部謹也	「世間」とは何か	講談社現代新書1995
阿部彩	子どもの貧困—日本の不公平を考える	岩波新書2008
阿部彩	子どもの貧困Ⅱ	岩波新書2014
赤川学	子どもが減って何が悪いのか	ちくま新書2004
赤石千衣子	ひとり親家庭	岩波新書2015
赤坂真理	愛と暴力の戦後とその後	講談社現代新書2014
安藤至大	これだけは知っておきたい働き方の教科書	ちくま新書2015
青木美希	地図から消される街—3.11後の「言ってはいけない真	講談社現代新書2018
新崎盛暉	日本にとって沖縄とは何か	岩波新書2016
新雅史	商店街はなぜ滅びるのか—社会・政治・経済史から探る再生の道	光文社新書2012
新雅史	「東洋の魔女」論	イースト新書2013
浅羽通明	右翼と左翼	幻冬舎新書2006
浅羽通明	ナショナリズム	ちくま新書2004
浅羽通明	アナーキズム	ちくま新書2004
綾屋紗月、熊谷晋一郎	つながりの作法—同じでもなく違うでもなく	NHK出版生活人新書2010
鮎川潤	少年犯罪—ほんとうに多発化・凶悪化しているのか	平凡社新書2001
坂野潤治	日本近代史	ちくま新書2012
モード・バーロウ、トニー・クラーク	「水」戦争の世紀	集英社新書2003
オギュスタン・ベルク	都市のコスモロジー	講談社現代新書1993
E. H. カー	歴史とは何か	岩波新書1962
ロナルド・ドーア	誰のための会社にするか	岩波新書2006
海老坂 武	戦後文学は生きている	講談社現代新書2012
枝廣淳子	地元経済を創りなおす—分析・診断・対策	岩波新書2018
藤原辰史	戦争と農業	インターナショナル新書2017
藤原辰史	給食の歴史	岩波新書2018
福井健策	著作権の世紀—変わる「情報の独占制度」	集英社2010
古荘純一	日本の子どもの自尊心はなぜ低いのか	光文社新書2009
浜田久美子	森の力—育む、癒す、地域をつくる	岩波新書2008
濱口桂一郎	日本の雇用と労働法	日経文庫2011
濱口桂一郎	若者と労働	中公新書ラクレ2013
原田正純	水俣病	岩波新書1972
原田曜平	ヤンキー経済	幻冬舎新書2014
長谷部恭男	憲法と平和を問いなおす	ちくま新書2004
長谷川 公一	脱原子力社会へ	岩波新書2011
長谷川英祐	働かないアリに意義がある	メディアファクトリー新書2010
橋本健二	居酒屋の戦後史	祥伝社新書2015
橋本健二	階級都市—格差が街を侵食する	ちくま新書2011
橋爪大三郎	はじめての構造主義	講談社現代新書1998
速水健朗	都市と消費とディズニーの夢	角川oneテーマ2013
ヒキタクニオ	「ヒキタさん! ご懐妊ですよ」—男45歳・不妊治療はじめ	光文社新書・2012
平野 克己	経済大陸アフリカ	中公新書2013
平田オリザ	芸術立国論	集英社2001
広井良典	コミュニティを問いなおす	ちくま新書2009
廣松渉	今こそマルクスを読み返す	講談社現代新書1990
広田照幸	日本人のしつけは衰退したか	講談社現代新書1999
久繁哲之介	地域再生の罫	ちくま新書2011
牟田和恵	部長、その恋愛はセクハラです	集英社新書2011
本田創造	新版・アメリカ黒人の歴史	ちくま新書2009
本田由紀	教育の職業的意義	岩波新書1991
堀米庸三	正統と異端	中公新書1964
細谷雄一	国際秩序	中公新書2012
五十嵐泰正	原発事故と「食」—市場・コミュニケーション・差別	中公新書2018
猪谷千香	つながる図書館	ちくま新書2014
池田利道	23区格差	中公新書ラクレ2015
池田知加	人生相談「ニッポン人の悩み」—幸せはどこにある?	光文社新書2005
稲葉振一郎	不平等との闘い—ルソーからピケティまで	文春新書2016
井上智洋	人工知能と経済の未来	文春新書2016
入不二基義	哲学の誤読—入試現代文で哲学する!	ちくま新書2007
伊勢田哲治	哲学思考トレーニング	ちくま新書2005
石原 俊	硫黄島—国策に翻弄された130年	中公新書2019
石原千秋	国語教科書の思想	ちくま新書2005
伊藤守	ドキュメント テレビは原発をどう伝えたのか	平凡社新書2012
岩本裕	世論調査とは何だろうか	岩波新書 2015

岩崎達也	日本テレビの「1秒戦略」	小学館新書2016
岩田正美	現代の貧困—ワーキングプア／ホームレス／生活保護	ちくま新書2007
岩田靖夫	ヨーロッパ思想入門	岩波ジュニア新書2003
伊豫谷登士翁、吉原直樹、齋藤 純一	コミュニティを再考する	平凡社新書2013
コリン・P. A. ジョーンズ	子どもの連れ去り問題—日本の司法が親子を引き裂く	平凡社新書2011
門脇厚司	社会力を育てる	岩波新書2010
香川知晶	命は誰のものか	ディスカヴァー・トゥエンティワン2009
梶井厚志	戦略的思考の技術	中公新書2002
梶谷 懐	中国経済講義—統計の信頼性から成長のゆくえまで	中公新書2018
苅谷剛彦	大衆教育社会のゆくえ—学歴主義と平等主義の戦後史	中公新書1995
笠井潔	8・15と3・11—戦後史の死角	NHK出版新書2012
加藤秀一	恋愛結婚は何をもたらしたか	ちくま新書2004
加藤朗	現代戦争論	中公新書1993
勝俣誠	新・現代アフリカ入門	岩波新書2013
河田雅圭	はじめての進化論	講談社現代新書1990
河原和枝	子ども観の近代—「赤い鳥」と「童心」の理想	中公新書1998
河井克義	老人に冷たい国・日本	光文社新書2015
河合幹雄	日本の殺人	ちくま新書2009
河野稠果	人口学への招待—少子・高齢化はどこまで解明された	中公新書2007
香山リカ	新型出生前診断と「命の選択」	祥伝社新書2013
粥川準二	クローン人間	光文社新書2003
風間孝、河口和也	同性愛と異性愛	岩波新書2010
吉川徹	日本の分断—切り離される非大卒若者(レッグス)たち	光文社新書2018
菊池正史	テレビは総理を殺したか	文春新書2011
菊池聡	〈超・多国籍学校〉は今日にもぎやか！—多文化共生って何だろう	岩波ジュニア新書2018
木村元	学校の戦後史	岩波新書2015
木村草太	コシミズ准教授の法学入門	星海社新書2012
桐野高明	医療の選択	岩波新書2014
北川フラム	ひらく美術—地域と人間のつながりを取り戻す	ちくま新書2015
鬼頭秀一	自然保護を問いなおす	ちくま新書1996
小針誠	アクティブラーニング—学校教育の理想と現実	講談社現代新書2018
小林雅之	進学格差	ちくま新書2008
小林 亜津子	生殖医療はヒトを幸せにするのか—生命倫理から考え	光文社新書2014
小松義彦	脳死・臓器移植の本当の話	PHP新書2004
小宮信夫	犯罪は予測できる	新潮新書2013
小阪修平	そうだったのか現代思想—ニーチェからフーコーまで	講談社プラスα文庫2002
久保田裕之	他人と暮らす若者たち	集英社新書2009
工藤進	日本語はどこから生まれたか	ベスト新書2005
熊谷修	介護されたくないなら粗食はやめなさい—ピンピンコロリの栄養学	講談社現代新書2011
倉沢進、李国慶	北京：皇都の歴史と空間	中公新書2007
C. ダグラス・ラミス	経済成長がなければ私たちは豊かになれないのだろう	平凡社ライブラリ2004
藤田直子	大学生生活の迷い方—女子寮ドタバタ日記	岩波ジュニア新書2014
増田寛也	地方消滅—東京1極集中が招く人口急減	中公新書2014
増田寛也	東京消滅—介護破綻と地方移住	中公新書2015
松村秀一	ひらかれる建築—『民主化』の作法	ちくま新書2016
松尾匡	新しい左翼入門	講談社現代新書2012
毛受敏浩	限界国家—人口減少で日本が迫られる最終選択	朝日新書2017
見田宗介	社会学入門 人間と社会の未来	岩波新書2006
宮島喬	ヨーロッパ市民の誕生—開かれたシティズンシップへ	岩波新書2004
宮本正興、松田素二	新書アフリカ史 改訂新版	講談社現代新書2018
宮竹貴久	恋するオスが進化する	メディアファクトリー新書2011
三好円	バクチと自治体	集英社新書2009
水野一晴	世界がわかる地理学入門—気候・地形・動植物と人間	ちくま新書2018
望月優大	ふたつの日本—「移民国家」の建前と現実	講談社現代新書2019
室井康成	事大主義—日本・朝鮮・沖縄の「自虐と侮蔑」	中公新書2019
森政稔	変貌する民主主義	ちくま書房2008
森口朗	いじめの構造	新潮新書2007
森岡孝二	働きすぎの時代	岩波新書2005
森山至貴	LGBTを読み解く—クィア・スタディーズ入門	ちくま新書2017
村井吉敬	エビと日本人	岩波新書1988
内藤朝雄	いじめの構造—なぜ人が怪物になるのか	講談社現代新書2009
中島みち	「尊厳死」に尊厳はあるか—ある呼吸器外し事件から	岩波新書2002
中見真理	柳宗悦—「複合の美」の思想	岩波新書2013

中村高康	暴走する能力主義—教育と現代社会の病理	ちくま新書2017
中根千枝	タテ社会の人間関係	講談社現代新書1967
中西正司、上野千鶴子	当事者主権	岩波新書2003
中澤渉	日本の公教育—学力・コスト・民主主義	中公新書2018
南後由和	ひとり空間の都市論	ちくま新書2018
根本かおる	難民鎖国ニッポンのゆくえ—日本で生きる難民と支える人々の姿を追って	ポプラ新書2017
西山深雪	出生前診断	ちくま新書2015
野口 祐子	デジタル時代の著作権	筑摩書房2010
野村達郎	フロンティアと摩天楼	講談社現代新書1989
野矢茂樹	無限論の教室	講談社現代新書1998
櫛島次郎	移植医療	岩波新書2014
沼上幹	組織戦略の考え方	ちくま新書2003
荻野美穂	女のからだ—フェミニズム以後	岩波新書2014
荻上チキ	ネットいじめ—ウェブ社会と終わりなき「キャラ戦争」	PHP新書2008
小俣一平	新聞・テレビは信頼を取り戻せるか—「調査報道」を考え	平凡社新書2011
重田園江	社会契約論	ちくま新書2013
大泉啓一郎	老いてゆくアジア—繁栄の構図が変わるとき	中公新書2007
大野和基	代理出産—生殖ビジネスと命の尊厳	集英社・2009
大澤真幸	「正義」を考える—生きづらさと向き合う社会学	NHK出版新書2011
大澤昭彦	高層建築物の世界史	講談社現代新書2015
大竹文雄	競争と公平感—市場経済の本当のメリット	中公新書2010
大塚英志	キャラクター小説の作り方	星海社新書2013
大屋雄裕	自由とは何か	ちくま新書2007
佐伯啓思	「市民」とは誰か	PHP新書1997
坂井豊貴	暗号通貨VS.国家—ビットコインは終わらない	SB新書2019
佐久間 充	山が消えた	岩波新書2002
桜井智恵子	子どもの声を社会へ—子どもオンブズの挑戦	岩波新書2012
佐野雅昭	日本人が知らない漁業の大問題	新潮新書2015
佐々木俊尚	キュレーションの時代—「つながり」の情報革命が始まる	ちくま新書2011
佐藤栄佐久	福島原発の真実	平凡社新書2011
佐藤俊樹	桜がつくった「日本」—ソメイヨシノ起源への旅	岩波新書2005
佐藤卓己	八月十五日の神話—終戦記念日のメディア学	ちくま新書2005
佐藤淑子	日本の子どもと自尊心—自己主張をどう育むか	中公新書2009
さわやか	僕たちのゲーム史	星海社2012
瀬木比呂志	絶望の裁判所	講談社現代新書2014
芹澤健介	コンビニ外国人	新潮新書2018
芹沢一也ほか	経済成長ってなんで必要なんだろう？	SYNODOS READINGS
島田裕巳	人はひとりで死ぬ—「無縁社会」を生きるために	NHK新書2011
眞淳平	人類の歴史を変えた8つのできごとⅠ—言語・宗教・農耕・お金編	岩波ジュニア新書2012
眞淳平	人類の歴史を変えた8つのできごとⅡ—民主主義・報道機関・産業革命・原子爆弾編	岩波ジュニア新書2012
眞淳平	人類が生まれるための12の偶然	岩波ジュニア新書2009
新崎盛暉	沖縄現代史 新版	岩波新書2005
塩川伸明	民族とナション	岩波新書2008
白河桃子	震災婚—震災で生き方を変えた女たち ライフスタイル・消費・働き方	ディスカバー携書2011
霜月たかなか	コミックマーケット創世記	朝日新聞出版2013
想田和弘	なぜ僕はドキュメンタリーを撮るのか	講談社現代新書2011
須藤靖	不自然な宇宙—宇宙はひとつだけなのか？	講談社ブルーバックス2019
杉本裕明	ルポにっぽんのごみ	岩波新書2015
杉山春	ルポ 虐待—大阪二児置き去り死事件	ちくま新書2013
杉山春	児童虐待から考える—社会は家族に何を強いてきたか	朝日新書2017
鈴木謙介	カーニヴァル化する社会	講談社現代新書2005
橘木俊詔、迫田さやか	夫婦格差社会—二極化する結婚のかたち	中公新書2013
平和博	悪のAI論—あなたはここまで支配されている	朝日新書2019
高木仁三郎	原発事故はなぜくりかえすのか	岩波新書2000
高橋哲哉	犠牲のシステム—福島・沖縄	集英社新書2012
高根正昭	創造の方法学	講談社現代新書1979
高島俊男	漢字と日本人	文春新書2001
武田尚子	チョコレートの世界史—近代ヨーロッパが磨き上げた褐色の宝石	中公新書2010
武田尚子	ミルクと日本人—近代社会の「元気の源」	中公新書2017
竹信三恵子	家事労働ハラスメント—生きづらさの根にあるもの	岩波新書2013
竹内洋	社会学の名著	ちくま新書2008
竹内洋	教養主義の没落—変わりゆくエリート学生文化	中公新書2003

田中宏	在日外国人第3版—法の壁、心の溝	岩波新書2013
谷岡一郎	「社会調査」のウソ—リサーチ・リテラシーのすすめ	文春新書2000
谷岡一郎	データはウソをつく—科学的な社会調査の方法	ちくまプリマー新書2007
朝永振一郎	物理学とは何だろうか(上・下)	岩波新書1979
友野典男	行動経済学—経済は「感情」で動いている	光文社新書 2006
戸田山 和久	哲学入門	ちくま新書2014
辻村みよ子	比較のなかの改憲論—日本国憲法の位置	岩波新書・2014
常石敬一	七三一部隊—生物兵器犯罪の真実	講談社現代新書1995
角田由紀子	性と法律—変わったこと、変えたいこと	岩波新書・2013
鶴見良行	バナナと日本人	岩波新書1982
筒井淳也	結婚と家族のこれから	光文社新書2016
筒井淳也	仕事と家族—日本はなぜ働きづらく、産みにくいのか	中公新書2015
円谷英明	ウルトラマンが泣いている	講談社2013
辻村みよ子	代理母問題を考える	岩波ジュニア新書2012
内田樹	寝ながら学べる構造主義	文春新書2002
上原善広	被差別の食卓	ちくま新書2005
上野修	スピノザの世界—神あるいは自然	講談社現代新書2005
梅棹忠夫	知的生産の技術	岩波新書1969
宇野重規	<私>時代のデモクラシー	岩波新書2010
臼杵陽	イスラエル	岩波新書2009
若林幹夫	郊外の社会学—現代を生きる形	ちくま新書2007
若桑みどり	お姫様とジェンダー—アニメで学ぶ男と女のジェンダー	ちくま新書2003
若田部 昌澄	もうダメされないための経済学講義	光文社新書2012
王敏	日本と中国—相互誤解の構造	中公新書2008
渡辺靖	<文化>を捉え直す—カルチュラル・セキュリティの発想	岩波新書2015
山田順	出版大崩壊—電子書籍の罠	文春新書2011
山田昌弘	パラサイト社会のゆくえ	ちくま新書2004
山田昌弘	少子化社会	岩波新書2007
山野良一	子どもの最貧国・日本—学力・心身・社会におよぶ諸影	光文社新書2008
山之内靖	マックス・ヴェーバー入門	岩波新書1997
山下祐介	東北発の震災論—周辺から広域システムを考える	ちくま新書2013
山下祐介	限界集落の真実—過疎の村は消えるか?	ちくま新書2012
山崎亮	ふるさとを元気にする仕事	ちくまプリマー新書2015
矢野久美子	ハンナ・アーレント—「戦争の世紀」を生きた政治哲学者	中公新書2014
安丸良夫	神々の明治維新—神仏分離と廃仏毀釈	岩波新書1979年
安丸良夫	出口なお—女性教祖と救済思想	岩波現代文庫2013
米本昌平ほか	優生学と人間社会	講談社現代新書2000
好井裕明	「あたりまえ」を疑う社会学:質的調査のセンス	光文社新書
吉見俊哉	夢の原子力—Atoms for Dream	ちくま新書2012
吉見俊哉	ポスト戦後社会:シリーズ近現代史9	岩波新書2009
吉見俊哉	万博幻想:戦後政治の呪縛	ちくま新書2005
吉見俊哉、テッサ・モーリス・スズキ	天皇とアメリカ	集英社新書2010
吉崎誠二	行列ができる奇跡の商店街	青春新書インテリジェンス
吉田 武	呼鈴の科学	講談社現代新書2014
吉野嘉高	フジテレビはなぜ凋落したのか	新潮新書2016
湯浅誠	反貧困「すべり台社会」からの脱出	岩波新書2008
湯浅誠	「なんとかする」子どもの貧困	角川新書2017